SBOM連携とAI連携によるさらなる品質管理

ソフトウェア開発におけるトレーサビリティ管理

2025年より新しくVer.7系をリリース
今後のアップデートとしてSBOM連携とAI連携の機能を追加予定

SBOM連携とAI連携による最先端のトレーサビリティ管理

- microTRACER×SBOM管理により脆弱性発覚時ソースコードのみでなく、どの要件やテストに影響するのかまでを可視化しておくことでセキュリティリスクへの対策を支援いたします。

microTRACERによる「影響範囲の特定」

日常的な課題として、変更箇所の「手探りによる影響範囲の調査」があります。

SBOM連携とCRA対応の必然性

欧州サイバーレジリエンス法（CRA）により、対応義務化への遅れは製品の販売停止という致命的なリスクに。

microTRACER なら…

影響範囲をすぐに確認

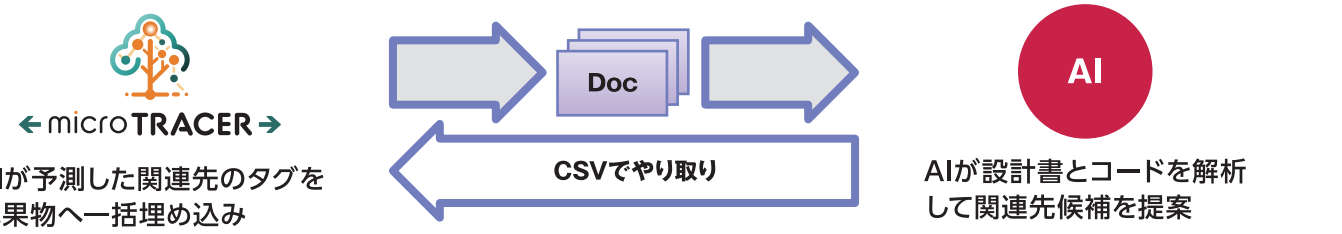
- ✓ 多段・双方向の影響範囲を可視化し「要件・設計・コード・テスト」の双方向を追跡
- ✓ ピンポイントな「差分・影響度」の絞り込み、変更箇所に紐づく要素を抽出し、バージョンごとの比較調査
- ✓ 影響がないことを論理的に証明し、レビュー時に根拠を即座に提示

microTRACER がSBOM連携することで

SBOM（脆弱性検知）　開発資産（要件、設計、テスト）

- ✓ 脆弱性がどの機能やテストに影響しているかを逆引き
- ✓ 影響なしの判断や、影響範囲の特定を素早く実施
- ✓ CRA監査エビデンスの作成をサポート

- 設計書やコードをAIで解析して関連候補を提案し、成果物の指定箇所に関連タグ情報を一括埋め込みできる機能を設けることでタグ管理工数を大幅に削減いたします。



成果物名	タグ	テキスト	関連タグ挿入箇所(列)	関連タグ挿入箇所(行)	上書き(W)/追加(A)	挿入する関連タグ
要件定義書1.docx	【FORM-002】	要件1	3	0	W	【REQ-002】 【REQ-002a】
要件定義書1.docx	【FORM-002a】	要件2	3	0	W	【REQ-002a】
要件定義書2.docx	【FORM-002b】	要件3	1	2	W	【REQ-002b】